質問内容別Q&A表　（RA/Admin session 2 資料）

Category	No.	Question	Answer （As of 2015/7/7）
Major code			
Common	1	The fact that each field, like BU, vendor, etc. will appear as code numbers without the names - how is this convenient, for anyone? Are we expected to memorize the codes or keep a separate list on Excel or click Search each time we want to check that we entered it correctly? And why can't this spec, or lack thereof, be modified? Is there a possibility it could be added in the future? And having to enter the BU for EVERY line we enter in the purchase order, can't this be modified too?	SAP製品の特徴に、「データ一貫性」があります。 これにより、不整合のな正しい数字をシステムから出力することが可能になります。 この特徴を維持するため、コード管理を基礎としたシステム構成になっていますので、皆さまにはコードでの入力をお願いすることになります。 現在、各種コード体系、画面・帳票への出力項目については、Basic Design phaseで検討しております。入力補助のために、検索ヘルプにテキスト項目を出力することも、議論の対象になっております。
Workshop /Event	2	ワークショップセクションからも依頼が出ていたのですが、イベントや旅行の種類（学生支援セクションの場合、アドミッションワークショップ、Undergraduate Workshop, Science Challenge Workshop, Educational Institution Visit, Conference/Workshop Travel、Recruiting events 等）毎に旅費及び購入の総額のデータが欲しいのですが、例えばイベント番号等を作成した場合、そちらを入力してSortが簡易になるように出来るのでしょうか?	ワークショップ・イベントについては、SAP内でイベント番号を保持する方向で検討しております。 （HEART projectは現在Basic Design phaseにおり、各種コード体系、画面・帳票への出力項目について検討中です。 皆さまには8月中旬以降に実施予定のDemo Sessionで、実際の画面・帳票イメージを見ていただきます。）
	3	6/2のセッションにて質問した所、1つのBUでプロジェクト毎にコードを作る事は難しそうだと分かったのですが、BUを増やすことは可能との事を聞きました。 各WS毎にBUを分けて頂き（年間10数件のワークショップ、ミニシンポがあります）予算管理を各WS毎にしたいのですが、これはこのプロジェクトの内容に含まれますでしょうか。それとも直接会計課にお聞きする必要がありますか？ 予算管理をする際、各WS毎にコードがあればかなりの時間節約になるのでよろしくお願いいたします。	
Budgeting report			
	4	新しいシステムでは、執行伝票一覧紹介で、セクションで入力したもの全体が一覧表示できるようになるのでしょうか？（現行の場合、入力者単位での表示となるため、入力者が複数いる場合は画面を切り替えないといけない）	Basic Designフェーズではシステムの権限設定（どのユーザーが、どの範囲の情報を入力・照会可能か？などの設定です）を検討しております。 その検討結果にもよりますが、基本的にはSection単位で各種情報を照会できるように設定する方向で協議しております。複数入力者分も画面を切り替えることなく一覧での表示が可能です。
System processing time			
	5	現在のERPシステムでは伝票明細などの細かい情報を見ようと思うと、１つ１つのデータを読み込むのに大変な時間がかかるが、新しいシステムではどのくらいの時間で画面に反映されるのか。	現行ERPと異なり、SAPはパフォーマンスの懸念はございません。 レスポンスタイム（何らかの入力を与えたときに、それに反応するまでにかかる時間のこと）の目標値を以下のように設定しています。 想定ケース・・・目標値 ========== 画面遷移時の描画・・・3秒以内 データ1件の画面表示・・・3秒以内 データ複数件（1,000件）の画面表示・・・10秒以内 データ1件の登録・更新処理・・・3秒以内 データ複数件の登録・更新処理・・・10秒以内 データ出力（500件）・・・10秒以内
Expense (settlement)			
	6	ERPに関して以前関係部署に相談したことがあったことを思い出しましたので、お伝えします。 現在、OISTでは精算された出張旅費や立替金の振り込み情報の把握が困難です。以前の職場では、payrollのようにメールや紙で精算情報（案件、金額、振り込み期日等のリスト）が通知されていました。たぶんこのような通知は他の会社でも普通に行われていると思います。 以前、関係部署に相談したところ、新しいシステムではこのような通知も入れ込みたいと聞いていました。 精算情報の通知についても配慮いただけると幸いです。	経費精算に関する承認ステータスは、皆さんご自身でSAP画面にて確認することができます。 振込み情報については、SAPにて「予算差引簿」を照会することで確認する想定としております。「予算差引簿」の具体的な出力項目は、現在Basic Design phaseにて検討中の為、今後のDemo sessionなどを通して皆さまにご確認いただきます。
	7	旅費精算などで出力する枚数が多く、ペーパーレス化が出来ていないように感じます。余白や情報の重複を減らすことは可能でしょうか？	現行ERPから出力される旅費精算関連の帳票を拝見し、過度に余白、改ページが多いことを確認いたしました。 SAP標準機能で出力される帳票では、現行ほどの過度な余白は出力されませんので、この点は改善されます。
Purchase request/order			
Demonstration	8	入力－承認－発注書出力－検収までの一連の流れを見せてほしかった。	8月中旬以降に実施予定のDemo Sessionで、実際のOIST用画面をお見せします。
	9	購買発注-部署発注について、１件の発注案件が支払・資産登録されるまでの処理フローが、具体的にイメージできなかった。また、締日直前で業務が立て込んでいた為、途中退席しなければならず旅費申請、予算執行状況の確認については参加できなかった。	
	10	OIST用の画面ではなかったので、イメージがつかめなかった。承認者画面、承認ラインの進み方など、申請が進むかが気になる。	
Screen/Report design for OIST	11	明細の部分のたくさんあったタブが何のためのものなのか質問があったが、結局よく分からなかった。 BU、予算科目、ベンダーなどが選択したのちは番号しかでず名称が表示されない点について多くの方が不都合であると言っていたが、これは今回のセッションで初めて分かったことなのか。 実際印刷される発注書がどのようなものか見せてほしい。	OISTではSAP標準機能を活用する前提を置いて、画面、帳票、機能の設計を進めております。ただし、前回のセッションでお見せした画面は、OISTにとっての不要タブ・項目なども多く表示された状態であったため、SAP標準機能を用いる場合でも、よりシンプルな画面に変更されます。 実際の画面については、8月中旬以降に実施予定のDemo sessionにてご確認いただきます。また、SAP標準の入力補助機能についてもご説明のうえ、今後開催される研修にて実際に操作していただく機会を用意いたします。
	12	製品入力の際、予算項目を一つの製品（項目）ごとに入力することは改善できないのでしょうか？（現ERPからの改善になっていないように感じます）	システムでデータを一元的に管理するため、ひとつひとつ入力することは、現行ERPおよびSAPに限らず必要です。そのため、SAPにおいても予算項目は製品（項目）ごとの入力となります。 [手順] ①製品（項目）を入力し、②それに紐付く予算項目（財源など）を入力する。 SAPではこのとき、既に入力済の製品と予算項目の組み合わせをコピーすることができるため、必要な数をコピーした後に製品（項目）箇所のみ変更する、という運用が可能です。
	13	ひとつの発注（試薬を複数個購入する場合）で、複数の財源を使った購買が可能かどうか画面で確認したい。	複数財源を用いた購買入力は可能ですが、業務上の運用方法含めて、調達セクションのプロジェクト関係の皆さまと検討中です。
	14	施設管理ディビジョンでは昨年約1700の入力案件があり、毎日沢山の発注を行っています。 ミスが生じると、エンドユーザーの使用頻度に応じて、調達、会計、承認者にも関係する訂正や差し戻しが増えるので、できれば早い段階で実際に使用してみて、効率よく、ミスがあまりでないシステムができればいいなと思います。	入力画面における誤入力防止策として、必須入力項目の設定、一定の閾値（上限・下限）を超えた値の入力、などを検討しております。 詳細については、8月中旬以降に実施予定のDemo session、10月以降実施予定のTrainingにてご確認いただけます。
Input	15	実際の発注案件から数パターンをテスト入力してみたい。そのようなテスト予定はあるか？	8月中旬以降に実施しますDemo Sessionでは、皆さまには実際の画面を見ていただくことを想定しております。 一方で、UAT（User Acceptance Test）というタイミングがあります。こちらは、全ての開発を終え、プロジェクト側の確認テストが終わった後に、ユーザーの皆さまに直接テストを実施していただくタイミングです。ここでは実際にシステムを操作していただく想定です。 UAT実施要領詳細（いつ、誰が、どんなテストシナリオに沿って実施するか？）は現在策定中ですが、RA/Admin staffの皆様も対象ですので、追って計画・調整させていただきます。（皆さまの繁忙期なども考慮の上で調整させていただきます。）
	16	見積書は、現在のように一旦PO番号を採番しなくても添付できますか。	現行ERPのように、「見積書添付のため、先にPO番号を採番しなくてはいけない」という制限はSAPにはありません。

質問内容別Q&A表　（RA/Admin session 2 資料）

Category	No.	Question	Answer （As of 2015/7/7）
HEART project all			
Information transmission	17	Apologize that I was not aware of HEART project being for new ERP system. Would be better if summary of Project Update will be on TIDA (somewhere in Quick Link)	今後は、HEART project HPに適宜情報を掲載させていただく他、毎月1回TIDAのfeatured story にPJ情報を配信させていただく他、この様なsession資料なども適宜共有させていただくよう対応致します。
Previous session / Request for session	18	システムについて理解を深めるため、そして既にシステムでfixされているもの・いないものを理解するためにRSDアドミ向けのデモセッションを開催頂くか、簡単なtutorialビデオのようなものを作成して公開頂けないでしょうか。 希望する内容は下記の通りです。 1)　部署発注購入依頼：ログイン→購入依頼入力・書類添付→発注書発行→調達・会計での伝票処理までの一連の流れ 2)　調達課発注購入依頼：同上 3)　出張申請；簡単な旅行の伺い書作成・旅費精算に一連の入力の流れ 4)　予算執行状況：CSVに落とした時のデータの具体例	皆様からのご意見を受けまして、今回のセッションを開催させていただきました。 今後、8月中旬以降のDemo Sessionにて、最初（システムログイン）～最後（各種帳票出力）までを、実際の画面や業務フロー詳細などをお見せしながら一連で説明させていただきます。 また、10月以降の開催のTrainingでは、準備したTraining materialやOperation manualなどの文書を用い、実際のシステムを利用しながら説明する予定です。実際にシステムに触れながら、学んでいくことができます。 HEART projectへのご意見・ご質問は、PJ e-mail adress宛にいただければと思います。また、UAT(User Acceptance test)やTrainingの期間においては、別途ご質問を受け付ける体制を設定する予定でおります。稼動後サポート体制についても、プロジェクトでの今後の検討事項としてすでに計画されています。
	19	以前の説明では、 １）新システムの機能として改善される部分もあるし、 ２）新システムに合わせて業務フローを変更して対処すべき部分もある。 ということでしたね。 もちろんそれはわかりましたが、では、それぞれが具体的にどういう点であって、どの業務について誰がどこでどう行動すべきなのか、 つまり、システムの部分だけの操作マニュアルでなく、システムの合間の業務フローまで含めた全体の流れを複数部署にまたがる当事者全員の共通理解にすることが、OIST全体の業務最適化のために必要だと思います。	
	20	We need to see the whole process from start to finish. The explanation was not clear, including which fields are mandatory and/or which fields were just the "standard" and may not be relevant to us at all. Can we see a demo of a whole test scenario, from entering the information on a quotation to the actual printing out of the PO slip? Can you arrange this before the training/test phase?	
	21	I hope you meet and interview a broader spectrum of users and provide us with a clearer explanation for each phase or each step. Is this project just about improving efficiency for the faculty? Is it still considered effective, even when it will obviously add to the burden of the admin staff who will be doing the actual inputting? If it requires more time and effort from their admin staff to input things into this new system, wouldn't it then, in turn, decrease efficiency for them too? It was a bit unfair to ABeam to be on the receiving end of the array of comments and criticism from the attendees, but I think everyone became very apprehensive of what will happen once this system is installed. I think we need more information as a whole.	
	22	説明会に参加したが具体的に現作業がどのように変わるのかイメージできなかった為、ERPを使用するすべてのメンバーへの新システム入力方法をレクチャーする時間を多く取ってほしい。また導入後も一定期間はサポートデスクを設けてほしい。	
	23	昨年度EYさんによるヒアリングが盛んに行われてエンドユーザーからの意見を聞いていただいたので、よりよいシステムが提供されるものと期待していたが、今回のベンダーさんからの説明では一連の流れも分からず、複雑になった部分が際立っただけのようだった。ベンダーさんからのデモンストレーションとエンドユーザーとの間にギャップがあったのではと感じた。	FY2014のEYによるヒアリングおよび検討においては、ERPパッケージ製品を特定せず、現状の課題と今後のあるべき姿を描き、検証してきました。 FY2015からは、選定されたSAP製品の特長・特性を最大限活用することを意識して、そのまま使用するところ、見直しが必要なところを検証してきました。そのため、「業務視点からシステム視点へ」とアプローチが変わったことから、混乱を招いてしまったのではないかと考えました。 皆さまには、8月中旬以降のデモ・セッションを通し、OIST仕様を実装したSAP標準システムで一連の流れをご確認いただければと思います。
	24	機能の説明の前に、プロジェクト全体の説明がもう少し詳しくあった方がよかったと思います。 入札でこの製品が選定された理由や、仕様変更が可能な部分と、変更できない部分があること、各部署のヒアリングをもとに優先順位をつけて聞き入れられた部分とそうではない部分など、予算の制約など。そういった説明で参加者にプロジェクトの中でいま議論すべきこと、議論できることは何かという共通認識を差共有したうえでスタートすることで、フォーカスのあった議論の場とすることができるのではないかと思いました。今回はまるでユーザーヒアリング会のようになってしまったので、フォーカスが定まらず、製品の機能や、カスタマイズ可能な範囲の理解が難しかったです。	ご意見踏まえまして、改善をはかり、7/9(木)および7/10(金)のセッションにて改めてご説明いたします。
	25	説明会の進め方として、おちゃらけた感じがしました。フレンドリーな感じを演出したかったのかもしれませんが、好ましくなかったと思います。また、説明者同士の知識不足なのか、お互いが言ったことを修正しあう場面があり、この説明会が新人教育の場なのかと疑ってしまいたくなりました。質疑応答の際にもマイクを渡す係りの人がおらず、せっかくの発言が全員に聞こえていたとは思えません。次回はマイクを渡す方を配置して頂けると助かります。	
	26	・説明者は丁寧であったが、質問がたびたびあり画面の変遷が多かったので、新システムの画面にどのような項目があって、自分の業務ではこの部分が重要だと意識できず、漫然と流してしまった。 ・マイクを通さないまま質問を受け付けていたので、質問者の発言内容がしっかり聞こえないことがあったので、回答の内容もつかめない事が部分があった。	
	27	見慣れない画面の説明だったのに加え、質問等で途中何度も中断されたので、全体の流れがよくわからなかったです。	
PJ Schedule	28	It was repeatedly mentioned that OIST has to change its operation to meet this system, but if the next time we get to see the system is the test phase or training phase or whatever it's called, when the specs are finalized, at which point are we supposed to do this? Are you leaving it up to individual sections/divisions to review and modify their workflow or is this going to be OIST-wide?	FY2014中に皆さまからいただいたご要望はOIST全体として整理の上確定され、FY2015活動の土台となっております。 それに基づき、HEART projectとしてシステムでの実装方法を検討し、今後8月中旬以降をめどにDemo sessionという形で皆さまにお見せする予定でおります。 その後、UAT (User Acceptance Test）というタイミングがあります。こちらは、全ての開発を終え、プロジェクト側の確認テストが終わった後に、ユーザーの皆さまに直接テストを実施していただくタイミングです。ここでは実際にシステムを操作していただく想定です。 UAT実施要領詳細（いつ、誰が、どんなテストシナリオに沿って実施するか？）は現在策定中ですが、RA/Admin staffの皆様も対象ですので、追って計画・調整させていただきます。（皆さまの繁忙期なども考慮の上で調整させていただきます。）
	29	システムをできるだけカスタマイズせずに運用をあわせるというメッセージが強すぎて、どこまで要求していいものかどうか加減が分からない。	
	30	まだ概要が決まったところのようで、それがどのようにOISTの業務に合わせて仕様を変えて行くのかが、これまでのsessionではあまり見えなかったように思う。 今後、どういった仕様になり、使いこなすようになるのかがよくわからなかった。	
	31	システムに触ってみないと実際のところはわからないかなと思いました。	
	32	現在のERPシステムの問題点を改善する為に新たなシステムSAPが導入されると思っていましたが、そのような説明等が全くないまま、説明会が始まった為、混乱してしまいました。	
	33	過去２回の説明会で全体のスケジュールは説明されていたけど、各フェーズにどこまで何をするか、というのを分かりやすく説明（あるいはWebに掲載）してもらえると、安心します。	ご意見踏まえまして、改善をはかり、7/9(木)および7/10(金)のセッションにて改めてご説明いたします。 またHEART project HPに可能な限りより多くの情報を掲載するよう対応いたします。 具体的には、Session資料のHPでの公開、毎月1回TIDAのfeatured story にPJ情報を配信などになります。
PJ member	34	プロジェクトチームに現場の仕事を理解しているメンバーを置くか、必要な部署からのヒアリングの実施を徹底してほしい。	PJ体制、ならびにPilot phaseでのセッション実施方法について、7/9(木)および7/10(金)のセッションにてご説明いたします。
	35	The lack of flexibility of the chosen system is a bit frustrating. The feedback that were shared in the session, how will they be reflected?	Flexibilityについては、今回の製品選定に関するCriteriaに含んでおります。 （Session資料をご参考ください。） ただしFlexibilityの定義は、今後OISTの成長に伴うUnit数の増加、学生数の増加、それに基づくトランザクション量（業務）の増加を踏まえ、それらに順応していくことを意味しております。 画面の使い方のUsabilityにつきましては、トレーニング機会を設けることで、実際にシステムに触れて慣れていただくことを計画しております。
Support	36	全体を通して、「使用方法で不安な時はいつでもすぐにサポートする」ということを事ある毎に強調してほしい。そして、実際に懇切丁寧なサポートを供給してほしい。このサポートがきちんとできないと、必ず不満が大きくなります。	HEART PJ e-mailアドレスを作成しましたので、Projectに関するご意見・ご質問はこちらまでお願いいたします。 また、SAP機能・新業務フローなどについては、上記にお問い合わせいただく他、今後Trainig期間には個別問い合わせ先を設置する予定です。 導入後のサポートについては、OIST/ABにて検討中ですので確定後に展開いたします。
Screen/Report design for OIST	37	インターフェースがユーザーフレンドリーな感じがしない。エクセルのようなインターフェースを見るだけで難しいそうだという先入観で見てしまう。	OISTではSAP標準機能を活用する前提を置いて、画面、帳票、機能の設計を進めております。ただし、前回のセッションでお見せした画面は、OISTにとっての不要タブ・項目なども多く表示された状態であったため、SAP標準機能を用いる場合でも、よりシンプルな画面に変更されます。 実際の画面については、8月中旬以降に実施予定のDemo sessionにてご確認いただきます。また、SAP標準の入力補助機能についてもご説明のうえ、今後開催される研修にて実際に操作していただく機会を用意いたします。